

介護労働懇談会の取組好事例（山形支所）

● 拡大WEC（3会議）の紹介&構成メンバーとの活動

What's 拡大WECやまがた

福祉人材確保推進協議会

（主体：山形労働局／WECやまがた）

山形県内における福祉人材確保重点対策事業を効果的・効率的に推進するため、山形労働局、ハローワークやまがた（介護・福祉相談コーナー設置所）、介護労働安定センター山形支所、山形県福祉人材センター、山形県ナースセンターの5機関の担当者協議会として、「WECやまがた（Welfare Employment Conference of YAMAGATA）」という愛称を付して平成20年度に設置。その後関係機関が実施する事業の趣旨・目的を一体的に捉え、福祉人材対策にかかる共通認識を固め、より一層の実効性を図るべく、WECやまがたの参加機関の他に、山形県、福祉系専門学校及び事業主団体等を加え、福祉分野の人材確保に係る総合ネットワークを構築し、当該ネットワークを通じて、相互の施策についての理解促進を図るとともに、必要な情報を共有し、福祉分野の人材確保に係る具体的な連携事項を協議することを目的として設置。
平成21年設置

山形県介護職員サポートプログラム推進会議

（主体：山形県）

介護職員が安心して介護業務に従事できる体制の構築に向けて、山形県及び関係機関・団体（国、市町村、養成・教育機関、施設・事業所、関係団体）が役割分担及び連携・協働のもと、「山形県介護職員サポートプログラム」を着実に推進し、介護職員の人材育成・確保、定着及び離職防止を図るため設置。
平成26年設置

介護労働懇談会

（主体：公益財団法人介護労働安定センター）

安心して働くことができる介護事業所の職場づくりを支援することにより、介護分野の人材確保及び定着を図るために、地域において、介護労働関係機関等から構成されるネットワークとして設置。相互の施策、事業に対する理解の促進、情報交換・共有、地域の実情に応じた役割や分担の検討等、介護の在り方を検討する話し合いの場とする。
平成25年設置

「拡大WECやまがた」は、趣旨・目的が同趣である上記3会議の総称。
山形県内における介護分野の人材確保及び定着のために、関係機関が相互連携し具体的な連携事項を協議及び策定を行う。



取組好事例（懇談会で「くるみん」&「ファミちゃんファミリー」の登場）

● 開催日時

平成29年2月17日（金）13:30～16:30

● テーマ

- 職場環境の改善～若い世代が働きやすい職場を目指して～
- ワーク・ライフ・バランス支援は人材確保の決め手になるか

● 参加機関

山形労働局、山形県、山形県社会福祉協議会、山形県看護協会、老施協、老健協、GH協議会、養成機関（大学、専門学校、民間養成機関）等27団体
コーディネーター：フォスターリンク(株) 菅野雅子 氏

● 取組み内容・背景

- ・WLB支援に関するデータからの検討、若い世代が企業に求めることとは
- ・くるみん認定・山形いきいき子育て応援企業認定法人2社から取組事例の紹介、若手介護員自主制作「介護職イメージアップDVD」視聴
- ・くるみん、ファミリー・フレンドリー企業推進担当官（写真）の登場

● 取組みの効果

第1回で協議した内容「有給休暇取得、給与の上げ方のルール、管理者層の育成」の繋がりから若い世代の確保と定着をテーマとした。WLB支援を重視し取り組む効果を知り、参加団体（老施協、GH協等）が会全体として取り組むためのバックアップと労働局および県担当課の協力で賛同いただいた。養成機関からもWLBを図る事業所なら生徒を安心して送り出せる等の意見が出された。

▷会議内容の詳細はこちら → <http://www.hellowork-y.go.jp/wec/>

